紙相撲新聞
第152回本場所
八～九日目号
編集・発行
日本紙相撲協会

春翔22連勝

照の花、扇灘を超える22連勝
早くも大横綱への呼び声高まる

【第百五十二回本場所八日～九日目】

久し振りの晴天に恵まれた10月は24日に待ちに待った本場所が開催され、幕内は八日目と九日目を行なわれ大関春ノ翔が連勝して9戦全勝として優勝争いの単独トップを守った。

さらには連勝記録を22まで伸ばし「昭和の大横綱」の横綱照の花、同じ桐壺部屋の兄弟子の横綱美空富士を超える歴代単独4位となった。

これを1敗で横綱若ノ嶋と大関佐賀の海が、2敗で平幕の超刃が追う展開となった。残り二日となって優勝争いはこの4人に絞られた。1敗の剛勇山は連敗して優勝争いから脱落した。

今場所は久し振りに横綱、大関の優勝争いとなっていて、春ノ翔の十日目と千秋楽の対戦相手は佐賀ノ海と若ノ嶋が予想され直接対決によって優勝が争われるという理想的な千秋楽となりそうで大いに盛り上がりそうだ。

九日目、大関同士の一門対決は、春ノ翔が全勝の勢いそのままに魁電を圧倒し、危なげなく寄り切って22連勝を果たした。横綱昇進は目前だ。

八日目の相手は期待の新関脇千代鈴。熱戦の末取り直しの一番は春ノ翔が完勝。全勝を守った。

「春ノ翔の連勝を誰が止めるのか？」と迎えた八日目の春ノ翔の対戦相手は関脇千代鈴。初土俵以来3敗しかしておらず「令和の怪物」の異名をとり今場所関脇に躍進したが、ここまで5勝2敗「なんとか回り込んで相撲が取りたいなぁ」と意気込む春日根親方。この一番に勝てば優勝の芽が出てくるというもの。

春日根親方は「残り全て勝って9勝2敗で優勝して、場所後に大関昇進」というシナリオを思い描いているようだ。一方の春ノ翔も今場所優勝して横綱昇進が目標。しかも連勝記録を更新中で、紙相撲史上に名を残す記録を樹立するまたとないチャンスで連続全勝優勝を狙う。

注目の一番は、春ノ翔の寄りを千代鈴がうまく回り込むが、春ノ翔が左を差して向正面に寄って千代鈴が土俵を割る。しかし、春ノ翔も前のめりで土俵につくという微妙な結果となって取り直しに。

もつれた取り組みに「いやあ！緊張するなぁ。」と叩き手の勝間田親方。取り直しの一番は、立ち合いに千代鈴が踏み込みよく春ノ翔の体を起こしたものの、春ノ翔が体勢を低くして正面土俵に寄り切った。「回り込めなかったね。悔しいけど、しょうがないね。」と残念がる春日根親方。

春ノ翔の続く九日目の相手は同門の大関魁電。過去の対戦成績は春ノ翔の2勝4敗と負け越している相手。「まさかこんなところで悪さをしないよなぁ」と心配する桐壺親方。しかし、その心配をよそに春ノ翔が一方的な相撲で勝って9連勝とした。

全勝　春ノ翔
一敗　若乃嶋、佐賀海、
超　刃

連勝記録

26	荒登
26	扇灘
25	荒登
22	春ノ翔※
21	照の花
21	扇灘
20	照の花
20	美空富士
19	富士登
19	英

第152回本場所星取表

ヤヤヤヤヤヤ●●○	美空富士	横綱	若ノ嶋
○○○○○○○○○	春ノ翔	大関	魁電
○○○○○●○○○	佐賀ノ海		
●●○●○○●○○	千代鈴	関脇	若剣
●●●○○●○○●	大神楽	小結	四季嶋
●○○○●○◯●○	出羽翼	前1	島帽子岳
○○○●●○●●●	朱雀湖	前2	支那虎
ヤヤヤヤ●○○●○	夢力	前3	月山
○○○●○●○●○	英筏	前4	玄武岩
●●○○○○○●○	剛勇山	前5	剣帝
○●○○●○○○●	若巨	前6	源氏丸
●○○●○○○○●	磯昇	前7	虎風
●○○○○○○○○	白閃光	前8	虎剛力
●●●○●●●●○	富士ノ花	前9	綱嵐
○●○○○○●●●	照の王	前10	生駒山
○●○○○○●○○	超刃	前11	伊達富士
○○○●●●●●●	寶蔵	前12	龍不動
○●○●●●●●○	島海波	前13	若柱
○●●○○○●○○	太刀鳳	前14	角武蔵
●○○●●●●○○	日向藤	前15	
○●○●○○○○○	春雷	十1	初戸
●●●○●○○○○	大江錦	十2	水晶滝
●●○○●○○○●	鬼ヶ嶽	十3	喜乃郷
●○○○○○○○○	鹿富士	十4	葵盛
○○○○○●●●○	若佑	十5	櫻吹雪
○●●●○○○●●	桑ノ城	十6	麒麟王
●○○●●●○○●	黒雲海	十7	山辺
●●●○○○●●○	虎ノ國	十8	桃乃洲
●○●○○●●○●	琴乃王	十9	雪若丸
●○●●○○○●○	西安	十10	西勢ノ里
●○●○●●●○●	三鷹	十11	天我
●●○●●○○○○	電幕	十12	夢香山
○●●●●○●○○	宇治家	十13	柏陵山
●●●●●●○●●	磯目ノ丸	十14	若雲山